

# 日頃の備えを怠らず 自分の身は自分で守る!



平成30年7月豪雨直後の東広島市内の様子(東広島市提供)

**近年**、大型化する台風や局地的被害が報告されています。「いつか」のために備えを怠らないよう準備しましょう。

## ◆風水害

6月28日(木)～7月8日(日)に、日本付近に梅雨前線が停滞し、台風7号に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み続けた影響により梅雨前線が活発化し、西日本を中心に記録的な豪雨に見舞われました(平成30年7月豪雨)。11の府県で特別警報※が発表され、河川の氾濫や土砂災害により、220名の方が亡くなり、9名の方が行方不明となっております(7月31日現在)。

※重大な災害が起こる恐れが著しく大きいことを警告する防災情報

## ◆警報・注意報の種類

現在、気象庁から発表される警報などは次の通りです。

警報等種類	発表内容
注意報	大雨、洪水、強風など
警報	大雨(土砂災害、浸水害)、洪水、暴風など
特別警報	大雨(土砂災害、浸水害)、暴風など

これらの警報などは、市町村ごとに過去の災害を調査した上で、災害の発生のある値を基準にして発表されます。

また、気象庁のHPからは、市町村ごとに発表されている現在の警報などの他に、今後警報などが発表される可能性や時間帯、種類についても確認することができます。避難する際や災害への備えをする際の参考にしてください。

これ以外にも、土砂災害発生の危険性が高まったときに発表される土砂災害警戒情報、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測した場合や、気象レーダーにより解析した場合に発表される記録的短時間大雨情報があります。

いずれも重要な情報ですので、気象庁や市から発表される情報にご注意ください。土砂災害警戒判定の情報なども、気象庁のHPで確認できます。

